



「はじめ塾」見学

2月25日(月)はあすなろ施設見学で小田原の「はじめ塾」に行きました。

この日は、富士山が青空にくっきりと美しい姿を現しており、私達10人も澄んだ気持ちで、小田原に向かいました。

塾長の和田重宏さんは35年間「はじめ塾」の2代目として「生活を通して人間を考える教育」をテーマに寄宿生活を実行しています。現在は不登校の子やそうでない子も含めて16人の寄宿生が居り精神的な葛藤や、他人との関係を考えながら、将来は社会生活に柔軟に対応できる力を養っています。



和田先生のお話の中で印象的だったのは、

「食事作りは子どもを育てる」

「勉強は頭ではなく、体でやる」という話です。

台所は宝の山で料理することは、創造力や勤や感を育てるということは、率直に納得しました。勉強も最後は体力勝負なので、いざという時までには体力、精神力を養っておく

事が大切と言う事でした。

この後、寄宿している少年、少女達が参加して、「はじめ塾」に入るきっかけや現在の状態など率直に話してくれました。寄宿生活の中でトラブルをどのように解決しているのかと言う質問には、力で解決せず、みんなの前で意見を言い合って解決の道を探していくということでした。それにしても、親元を離れて共同生活をしていくことを選択した、子ども達の決意を健気に感じました。

この後、和田先生の案内で農園を見学しました。そこは、相模湾の海が見える小高い丘の、広い農園でした。みかんなどの果樹、野菜、稲作等栽培・収穫して塾生の食生活にあてられているということでした。この時頂いたみかんは、自然そのものの味がしました。



「あすなろ」そば打ち会

2月28日(木)は、あすなろ恒例のそば打ち会でした。この日は座間市適応指導教室「つばさ」の皆さんも参加して総勢30人が「あすなろ」農園で採れた、そば粉でこねて、のぼして、切って、茹でて、食べました。みんな「美味しい」と何杯もおかわりしていました。天ぷら担当のスタッフが揚げた野菜天が、おそばによく合いました。



粉を振ってから水を加え
耳たぶくらいの柔らかさに成る
までよくこねます



のし板に移し麺棒で延ばしま
すが、これがなかなか大変
で、体力を使います

皆お腹一杯！大満足の後、お雛様を前に
「つばさ」の子供達の電子ピアノの伴奏に合
わせ、スタッフも一緒に歌で盛り上がった
ティタイムの楽しいひと時でした



参加した生徒からの便り

- ・ こんにちは！蕎麦づくりでは大変お世話になりました。前回のうどんより簡単に楽しく作れました。てんぷらも大変美味しかったです。
- ・ 家でも作ってみたいなあーと思いました。美味しくてバックバックいっぱい食べてしまいました。
- ・ うどんもそばも自分で作ったことがなくて楽しみでした。最初はできませんでしたが、直ぐに慣れて良かったです。